



2024年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年10月31日

上場会社名 クリエイトメディック株式会社
コード番号 5187 URL <https://www.createmedic.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 会長兼社長 (氏名) 佐藤 正浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部長 (氏名) 今澤 修

TEL 045-777-0111

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	9,512	3.8	521	14.9	545	16.4	744	
2023年12月期第3四半期	9,168	1.3	612	1.5	651	13.7	9	98.0

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 891百万円 (48.4%) 2023年12月期第3四半期 600百万円 (57.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	83.85	
2023年12月期第3四半期	1.06	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期第3四半期	18,825	15,019	79.8	1,742.18
2023年12月期	19,258	14,944	77.6	1,641.59

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 15,019百万円 2023年12月期 14,944百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期		17.00		20.00	37.00
2024年12月期(予想)		19.00		20.00	39.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2024年12月期 中間配当金の内訳 普通配当 17円00銭 設立50周年記念配当 2円00銭

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,032	3.5	868	8.1	900	3.1	967	527.8	106.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期3Q	9,664,327 株	2023年12月期	9,664,327 株
期末自己株式数	2024年12月期3Q	1,043,524 株	2023年12月期	560,740 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期3Q	8,880,747 株	2023年12月期3Q	9,101,903 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期の財政状態の概況	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 8
(セグメント情報等の注記)	P. 8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、経営理念として「からだにやさしい未来の医療を築く ～私たちは「かけがえのない生命を守る」製品の開発・製造・販売に情熱を燃やし、人々の健康で豊かな生活に貢献します～」と定め、次の事項を経営の基本方針に掲げております。

- ① 医療に携わる企業として、社会に貢献することを第一義とし、人々の役に立ち喜ばれる製品を提供する。
- ② 創造性・意外性・感動性ある企業として発展するために、総力を結集する。
- ③ 従業員の生活を豊かにし、秩序ある明るい職場環境をつくる。
- ④ 企業の成長に不可欠な人材の発掘・登用、教育・育成に努める。
- ⑤ 事業活動で得た成果・利益は、持続的な企業価値の向上に向け、適切に配分する。

また、本年8月には設立50周年を迎え、当社10年後のありたい姿ならびに事業発展に資する将来構想の検討を進めております。今後も当社グループは、経営理念の実現に向け、医療現場への貢献に資する事業活動を行うとともに、持続可能な社会の実現に向けた活動も行っております。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウクライナ情勢や中東情勢の長期化により依然として先行き不透明な状況が続いております。また、物価の高止まりとして、一部の欧米諸国における政策金利の引き下げが株式市場や外国為替市場に影響を与えており、主要国の経済減速が懸念されますが、一方でインドや東南アジア諸国の経済成長への期待は引き続き高まっております。

このような状況の下、当社は中期経営計画の達成に向け、国内では新製品上市による営業活動の強化と本社移転による経費削減策を実施し、さらに原価低減を図るため仕入先の見直しや、為替変動のヘッジ対策を実施いたしました。また、海外では中国事業の販売強化に加え、インド及び東南アジアへの販路拡大も行い、売上増加を目指してまいりました。

以上により、売上高につきましては、OEM販売は一部の血管系製品が終了したことに伴い減少したものの、自社販売の価格改定効果と泌尿器系製品の販売好調により売上が増加しました。さらに海外販売では、中国販売が順調に推移したことにより、全体の売上高は増加となりました。

利益面では、円安による輸入仕入コストの上昇に加え、本社移転に伴う減価償却費の前倒しや営業活動の活発化により旅費交通費等が増加したため、営業利益及び経常利益は減少いたしました。一方、本社売却による特別利益が発生したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益が大幅な増加となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高9,512百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益521百万円（前年同期比14.9%減）、経常利益545百万円（前年同期比16.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益744百万円（前年同期は9百万円）となりました。

販売形態別の販売状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結 累計期間	当第3四半期連結 累計期間	前年同期比	
			金額	増減率
自社販売	4,886	5,078	191	3.9%
海外販売	3,228	3,564	335	10.4%
OEM販売	1,052	869	△183	△17.4%
合計	9,168	9,512	343	3.8%

<自社販売>

自社販売は、消化器系製品の競争激化により販売数量が減少したものの、泌尿器系製品の販売拡大及び価格改定効果により、売上高5,078百万円（前年同期比3.9%増）となりました。

<海外販売>

海外販売のうち、輸出販売は欧州向けの泌尿器系製品が昨年好調であった反動により売上が減少したものの、中国販売の好調による売上が拡大したため、売上高3,564百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

<OEM販売>

OEM販売は、新規上市の内視鏡関連製品が好調であるものの、血管系製品の一部終了に伴う減少を補えず、売上高869百万円（前年同期比17.4%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して433百万円減少し18,825百万円となりました。これは、現金及び預金の増加1,488百万円に対し、電子記録債権の減少247百万円、売掛金の減少447百万円、商品及び製品の減少252百万円、原材料及び貯蔵品の減少168百万円、その他の流動資産の減少106百万円、土地の減少557百万円、建設仮勘定の減少128百万円が主な要因であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して508百万円減少し3,806百万円となりました。これは、賞与引当金の増加107百万円に対し、支払手形及び買掛金の減少167百万円、電子記録債務の減少123百万円、前受金の減少86百万円、その他の流動負債の減少64百万円、退職給付に係る負債の減少39百万円、繰延税金負債の減少74百万円が主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して74百万円増加し、15,019百万円となりました。これは、自己株式の増加467百万円、利益剰余金の増加395百万円、為替換算調整勘定の増加125百万円が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年2月14日の「2023年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想の数値に変更はありません。

なお、国内外の経営環境の動向などを注視し、業績予想の修正が必要と判断した場合には適時に公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,392,845	5,881,524
受取手形	171,377	107,619
電子記録債権	1,352,309	1,105,147
売掛金	1,904,229	1,456,799
商品及び製品	2,376,010	2,123,559
仕掛品	889,199	862,531
原材料及び貯蔵品	1,049,028	880,641
その他	591,707	485,264
貸倒引当金	△3,823	△1,517
流動資産合計	12,722,884	12,901,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,456,900	2,483,138
機械装置及び運搬具（純額）	473,412	464,361
土地	1,643,472	1,086,223
建設仮勘定	293,057	164,666
その他（純額）	522,630	534,215
有形固定資産合計	5,389,472	4,732,605
無形固定資産		
借地権	168,602	165,786
その他	397,085	376,681
無形固定資産合計	565,687	542,467
投資その他の資産		
投資有価証券	454,250	573,242
繰延税金資産	85,429	35,780
その他	41,053	39,429
投資その他の資産合計	580,732	648,452
固定資産合計	6,535,892	5,923,525
資産合計	19,258,777	18,825,097

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	498,848	331,467
電子記録債務	288,789	164,830
短期借入金	800,000	800,000
未払法人税等	84,609	60,199
賞与引当金	52,234	159,338
役員賞与引当金	16,015	9,072
前受金	86,500	—
その他	1,140,174	1,075,514
流動負債合計	2,967,172	2,600,422
固定負債		
退職給付に係る負債	1,004,646	964,806
繰延税金負債	216,410	142,247
資産除去債務	2,701	2,702
長期未払金	34,858	28,306
その他	88,622	67,607
固定負債合計	1,347,239	1,205,670
負債合計	4,314,411	3,806,092
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,461,735	1,461,735
資本剰余金	1,486,401	1,486,572
利益剰余金	10,586,341	10,981,847
自己株式	△506,097	△973,590
株主資本合計	13,028,380	12,956,565
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	77,361	111,371
繰延ヘッジ損益	—	△7,340
為替換算調整勘定	1,735,540	1,861,264
退職給付に係る調整累計額	103,083	97,144
その他の包括利益累計額合計	1,915,985	2,062,439
純資産合計	14,944,365	15,019,004
負債純資産合計	19,258,777	18,825,097

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	9,168,354	9,512,351
売上原価	5,116,619	5,281,564
売上総利益	4,051,734	4,230,786
販売費及び一般管理費	3,439,531	3,709,601
営業利益	612,203	521,184
営業外収益		
受取利息	21,143	23,943
受取配当金	3,157	3,988
保険配当金	3,554	115
為替差益	16,466	—
その他	9,572	11,295
営業外収益合計	53,894	39,343
営業外費用		
支払利息	9,193	8,929
固定資産除却損	3,888	1,013
為替差損	—	4,273
その他	1,093	1,143
営業外費用合計	14,176	15,360
経常利益	651,921	545,167
特別利益		
固定資産売却益	—	300,251
補助金収入	41,028	89,870
特別利益合計	41,028	390,121
特別損失		
投資有価証券評価損	24,921	29,999
特別損失合計	24,921	29,999
税金等調整前四半期純利益	668,028	905,289
法人税、住民税及び事業税	232,217	194,055
法人税等調整額	426,135	△33,395
法人税等合計	658,352	160,659
四半期純利益	9,675	744,629
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,675	744,629

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	9,675	744,629
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,342	34,009
繰延ヘッジ損益	—	△7,340
為替換算調整勘定	567,425	125,723
退職給付に係る調整額	△6,788	△5,938
その他の包括利益合計	590,978	146,454
四半期包括利益	600,654	891,084
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	600,654	891,084
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年2月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式486,000株の取得を行い、当第3四半期連結累計期間において自己株式が470,499千円増加しました。また、2024年4月26日に実施した譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分等により、自己株式が3,007千円減少しました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が973,590千円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	427,723千円	487,674千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、ディスプレイカテーテル・チューブの製造・販売を主な事業とした単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。